

つながろう肱川

～上流から下流まで・未来へ・子どもたちへ～

■つながろう肱川プロジェクト

- 平成30年7月豪雨により甚大な浸水被害が発生した肱川水系では、上流から下流まで関係機関が連携し、肱川流域全体の防災・減災のために「肱川緊急治水対策(ハード対策)」と「肱川の減災に係る取組方針(ソフト対策)」が一体となった「つながろう肱川プロジェクト」を実施しており、緊急的対応を含めた3段階で治水対策を実施しています。
- 概ね5年間で、肱川中下流部における築堤や暫定堤防のかさ上げなどの河川整備を集中的に実施してきました。
- 今後は平成30年7月洪水と同規模の洪水を安全に流下させることを目標とした更なる河川整備、ダム建設・改良を進めます。



■肱川緊急治水対策 国管理区間堤防完成式

平成30年7月豪雨を溢れさせないよう、河川激甚災害対策特別緊急事業により、無堤地区での築堤、暫定堤防のかさ上げ等を実施した肱川緊急治水対策の国管理区間堤防完成式を令和6年2月4日に開催しました。



①緊急的対応

平成30年度より実施

河川（国・県）

- ・予備費による樹木伐採、河道掘削
- ・野村ダム下流などの土砂堆積部の河道掘削
- ・暫定堤かさあげ（+0.7m）

野村ダム

- ・事前放流（600万 m^3 を確保）
- ・洪水貯留準備水位の更なる低下

野村ダム、鹿野川ダムの放流警報

- ・新たな放流警報手法（試行開始）

〈2019年〜〉

鹿野川ダム改造により増大した容量の有効活用

- ・野村ダム操作規則変更
- ・鹿野川ダム操作規則変更

②概ね5年後

平成30年7月洪水を越えさせない

下流河川（国・県）

- ・激特事業による堤防整備、暫定堤防のかさ上げなど

野村ダム下流など

- ・河道掘削などの対策を実施

治水協定

- ・洪水調節可能容量（761万 m^3 を確保）

激特事業による流下能力向上により可能となるダム操作規則の変更

- ・野村ダム操作規則変更
- ・鹿野川ダム操作規則変更

③概ね10年後

平成30年7月洪水と同規模の洪水を安全に流下させる

更なる河川整備

山鳥坂ダム完成（2032年完成）

野村ダム改良完成（2027年度）



河川激甚災害対策特別緊急事業 実施箇所位置図